

ごあいさつ



財団法人 日本テニス協会
会長

盛田 正 明

(財)日本テニス協会の実業団委員会が日本テニス界の普及の一翼を担って開催してまいりました「全国実業団対抗テニス大会 ビジネスパル・テニス」は、今年で49回目を迎える事となり、3年ぶりに北海道にもどってまいりました。そして今回も帯広市のご好意により、帯広での2回目の開催が出来ますことは誠にご同慶に堪えません。

団体戦の国内最高峰であります日本リーグも、近年オープン化が進んでプロ選手を含む日本のトッププレーヤーや外国人選手の出場によってハイレベルな試合が繰り広げられていますが、ビジネスパル・テニスも同様に、実業団一般大会の団体戦の頂点として、今大会も熱戦が繰り広げられ参加選手全員が大きく盛り上がることを期待しております。

厳しい地方、地区予選を勝ち抜かれ、見事全国大会に出場された男子32チーム、女子20チームの皆様には、日頃の練習成果を遺憾なく発揮されて素晴らしいテニスプレーを繰り広げると同時に、試合以外の時には全国各地のお互いの情報交換などを行い、大いに友好関係を深めて頂きたいと思っております。

最後になりましたが、この厳しい情勢下でも企業スポーツの大事さをご理解頂いて選手を派遣頂いている各企業の皆様、この大会を全国に報道頂く朝日新聞社様、本大会にご協賛頂いておりますブリヂストンスポーツ株式会社様をはじめ、ご協力、ご支援を頂いております関係各位に心から感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



北海道テニス協会
会長

松 木 武

今年の第49回全国実業団対抗テニス大会「ビジネスパル・テニス」は、北の大地の北海道を代表する、十勝・帯広の大自然の素晴らしい環境の中にある、帯広の森テニスコートを会場に開催されます。

全国の各地域の予選を勝ち抜いて参加された役員選手の皆様をお迎えし、開催されますことをお慶び申し上げ、主管協会として担当致します。

選手諸君は、社会人として忙しい仕事環境の中で、厳しい練習に精進して夫々に企業の代表選手として出場されました。試合では、社会人としてフェアプレーとファイティングスピリットで競い合い、試合を離れては全国のテニス仲間との交流の輪を広げて、思い出に残る大会にして頂きたいと思います。

皆様には、今後さらにテニスに精進をされ、夫々の地域のテニスの普及発展のためにも元気で活躍されることを期待しております。

本大会の開催に当たって、ご尽力を頂いた数多くの関係者と協賛会社の皆様に、心から感謝を申し上げ、参加選手の皆さんのご健闘と大会の成功を祈念して、主管協会として歓迎のご挨拶といたします。